

WEEKLY SIGNAL

2019年11月29日(金) 1502号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	12/2 (月)	12/3 (火)	12/4 (水)	12/5 (木)	12/6 (金)
無担保O/N			△ 0 . 0 8 7 % ~ 0 . 0 0 1 %		
銀行券	ト ン	△ 1,000	△ 1,000	△ 2,000	△ 2,000
財政他	△ 30,100	+ 3,000	△ 91,000	+ 4,000	△ 7,000
資金需給	△ 30,100	+ 2,000	△ 92,000	+ 2,000	△ 9,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M) 国債発行(2年)		国債発行(10年) 法人税・消費税・保険揚げ		国債発行(30年)
オペ期日	国債補完供給 + 500		成長基盤 △ 9,400		
オペスタート			成長基盤 + 10,300		
(日本)	設備投資(前年比)(3Q)	マネタリーベース(前年比)(11月) 営業毎旬報告(11月30日現在)		日銀原田審議委員が、大分市の 懇親会で挨拶後、記者会見	景気動向指数(10月)
(海外)	米 ISM製造業景況指数(11月) ユーロ圏 ラガルドECB総裁、 欧州議会で証言 ユーロ圏 製造業PMI(11月)	NATO首脳会議(ロンドン、4日まで) ユーロ圏 PPI(10月)	米 クオールズFRB副議長、下院委で証言 米 ADP雇用統計(11月) 米 ISM非製造業総合景況指数(11月) ユーロ圏 財務相会合(ユーログループ) ユーロ圏 総合PMI(11月)	OPEC総会(ウィーン) 米 新規失業保険申請件数 (11月30日終了週) 米 貿易収支(10月) ユーロ圏 EU財務相理事会 ユーロ圏 GDP(3Q)	OPECプラス会合(ウィーン) 米 雇用統計(11月) 米 シカゴ大学 消費者マインド'指数(12月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.020 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.010 ~ 0.030
SPOT 3M	△0.010 ~ 0.060
SPOT 6M	△0.010 ~ 0.100

<インターバンク>

日銀当座預金残高は、週初404兆3,300億円から始まった。その後は26日・28日の国債買入オペの影響でやや増加し、404兆6,600億円(速報)で越えた。
今週の無担保コールON物は、週初25日から28日まで調達意欲の強い堅調な地合いが続いた。同加重平均金利は、大規模な試取が行われたことで大きく上昇した26日を除くと、△0.027%~△0.023%で推移した。月末29日は一部業態で調達を抑える動きが見られ、同加重平均金利が△0.034%まで低下した。
ターム物は1Wから2W物を中心に、主に△0.025%~△0.020%の水準で出合いが見られた。
厚生労働省が29日公表した10月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月から横ばいの1.57倍だった。労働者の安定した就労が進んで求職者数が減少した一方、製造業を中心に求人数も減少したため同倍率は横ばいとなった。
来週の主な予定は、国内では日銀原田審議委員による懇親会での挨拶・記者会見(5日、大分市)や、景気動向指数(10月)の公表(6日)などがあり、海外ではユーロ圏GDP(3Q)の公表(5日)や、米雇用統計の公表(6日)などがあげられる。

【オープン市場】

CP3M(a-1+)	△0.003 ~ 0.000
TDB 3M	△0.200~ △0.150
現先(on/1w)	△0.050 ~ 0.000

<C P>

今週の入札発行総額は約2兆2,000億円で、週間償還額(約1兆5,900億円)を大幅に上回り発行超となった。月末日スタートの発行は約1兆2,400億円で、月末償還(1兆2,400億円強)とほぼ同額であったが、月初スタートの新規案件や薬品・不動産業態からの大型案件が実施され、活況なマーケットとなった。発行残高は、先週末の20兆6,132億円から28日時点では約21兆660億円となった模様。発行レートは、0%近辺でほぼ横ばい推移であった。
来週の償還総額(12/2~12/6)は、2,500億円程度となっている。5・10日発行が予定されることから、今週同様に活況なマーケットを予想する。発行レートは、引き続き浅いマイナスから0%近辺でのレンジと思われる。3日にCP等買入れオペが3,000億円程度オファーされる予定。

<TDB>

11月29日の3M873回債(3月9日償還)の入札結果は、最高落札利回り△0.1507%(前回債△0.2103%)、平均落札利回り△0.1783%(同△0.2263%)となり、入札後は△0.165%~△0.155%で取引された。その他のセカンドリーでは、3M872回債(3月2日償還)が△0.215%~△0.210%のレンジで取引された。
来週は6日に3M物の入札が予定されている。

<レポ>

足許GC取引は、月末初物も含めて週初から週後半まで概ね△0.085%~△0.075%で推移した。短国3Mの発行があった2日受渡しでは△0.05%台まで上昇して越えた。
SC取引は10年345回債の引き合いが多く見られ、週初は△0.095%近辺、以降△0.150%~△0.110%で取引された。
その他2年403~406回債、5年136~141回債、10年336~356回債、20年167~170回債、30年62~64回債、40年12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社 登録金融機関 近畿財務局長(登金)第243号 加入協会 日本証券業協会